

2025 年 4 月 4 日 (金)

## ミャンマーの今 (2) ～感性の声を聞け！

先月 28 日に起きたミャンマー中部での大地震による死亡者は 3,000 人を大きく越え、負傷者も 6,000 人に迫る程です。国境近くの山岳地帯や農村部では未だに被害の全容は不明です。4 年前のクーデターで誕生した国軍政府も、この 1 年は民主派勢力に押され気味で震災支援に向ける余裕はないようです。ミン・アウン・フライン司令官は、全世界に向けて経済制裁の一部解除と支援という異例とも言える要請をしています。しかし、国境付近に住む住民まで支援が行き届くという保証もなく、実行は困難を極めています。

こうした中、4 月 2 日、日本政府は軍政下のミャンマーに向けて被災者の治療や感染症の予防のために JICA に登録された医師や看護師など 32 名からなる医療チームを派遣しました。また、岩屋外務大臣は、9 億円の緊急無償支援、防水シートやテントなど 700 点以上の物資の輸送を発表しています。

ミャンマーでの医療活動と言えば、NPO ジャパンハートの小児外科医:吉岡 秀人(1965-)さんの活動を思い浮かべます。彼の活躍は 2022 年 3 月に NHK『最後の授業』で取り上げられていますし、4 年前の校長ブログでも触れていますからご存知の方も多いでしょう。

吉岡さんの属するワッチェ慈善病院は、震源のほぼ真上というマンダレーの北 10km の地にあります。NHK『クローズアップ現代』(2 日 19:30 ~ 19:57)の報道によれば、手術の最中に地震が発生し、吉岡さんたち医療スタッフは急いで一部倒壊した病院から患者を運び出して野外で手術を続行したそうです。これまでも設備や機具ない中で多くの経験とノウハウがあったとはいえ、この判断と行動には驚くばかりです。

病院のあるエーヤワディー川の中流に位置するザガイン管区は、民主派勢力の支配地域でもあり、地震後も戦闘は継続しています。ミャンマー国軍政府は 2 日になって一時停戦を発表していますが、その後も空爆は続いています。ボランティアの援助団体の行う物資輸送も軍事政権によって検閲や阻止されたり、輸送スタッフの逮捕も出ていると伝えられています。生理用品は、負傷者治療のガーゼとして利用できるため、国軍の検閲によって取り上げられ輸送はできないそうです。食料、医療、水の確保は今でも緊急の課題であり、1

ヵ月後に雨季が訪れるミャンマーでは、安全な避難場所の準備も待ったなしの状況にあります。

2010年には紀伊國屋ホールで吉岡さんの話を聞く機会がありましたが、そこで強調していたのは『感性の声を聞け！』ということでした。前の軍政下の時、1995年にミャンマーに単身渡って医療をしようという行動に、当時は耳を傾ける人はいなかったそうです。「手助けしたい、救いたい」という衝動(自分の叫び)=感性が、患者に向き合わせてくれたのだと述懐しています。「自分の幸せの延長に、他人の幸せがある。それが人生だ」という信念に揺り動かされて行動しているのだと語っています。「やりたいという衝動を充たすためには時間が必要であり、それを惜しんではいけない」とも。吉岡さんの心の叫び、やりたいことが医療だったのです。

皆が吉岡さんのようにはなれないとしても、「自分のやりたいこと、興味あることを深めてみること」「まずは行動すること」の大切さを教えてくれています。じっとして不満や不平ばかり言っているのは、前に進めません。彼の言う「時間を大切にすること」ということは、「時間をかけて興味のあること、やりたいことを突き詰めること」、つまり「行動すること」なのです。もしダメだったら、また別の方法を変えてみればいい、違う道に進んでも良いのです。興味や関心、好奇心のアンテナ(軸)をいくつ持っているか、またその軸の描く体積が「能力」であり、その軸の形が「個性」だとも言っています。

興味や関心は人それぞれ違うでしょうが、年齢・経験、環境によっても変わります。好奇心のアンテナをいくつ持っているかが「能力」であり、それに時間を費やすことを面倒くさがってはいけません。言い替えれば、好奇心のアンテナとは教養を磨くことであり、それを追い求め、突き詰める時間の連続が人生とも言えます。

そして、吉岡さんの言う結論は、「一番ダメなこととは失敗を恐れて、何も行動しないことだ」と語っています。さて、あなたは…。

石飛 一吉

#### 参考資料

・荒船 清田(2014)ミャンマー地震 現地の日本人医師、手術矢先に病院倒壊 復旧見込めず「被害悪化」の恐れ「産経新聞」2025年4月1日 14:48

<https://www.sankei.com/article/20250401-HZHTXII52BKZDBKE22EGY56QPM/>